

令和5年度事業報告書

特別養護老人ホーム 謹之丞の丘

1. 運営方針

(1) 特別養護老人ホーム 謹之丞の丘は愛・敬・誠の基本理念のもと、利用者が安心して快適な生活が送れるよう、明るく家庭的な雰囲気づくりに努めました。

また、新型コロナウイルス感染対策の縮小に伴い、施設外での活動や施設内の催し等を徐々に再開し、昨年11月にはお誕生会にのぞみこども園の園児に来ていただき、利用者が大変喜ばれておりました。この春からはお花見、ドライブなど、徐々に通常の状態に戻りながら楽しみや、季節感を味わっていただけるよう取り組みました。

(2) 特別養護老人ホームでは、新たな入所者の確保は行っているものの、入所者とほぼ同数の長期入院等による退所者が多く、年間平均利用者数は44.7人、平均利用率は89.3%となりました。(利用実績は、別紙のとおり)

(3) 短期入所生活介護事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大による利用制限の影響等もあり、年間平均利用者数は6.3人、平均利用率は78.3%でした。(利用実績は別紙のとおり)

2. 事業報告

(1) 職員

① 介護職員等の処遇改善

介護職員処遇改善加算・特定処遇改善加算を受け、昨年度に引き続き介護職員をはじめ、全職員の処遇改善を行いました。

② 資質向上

施設内の各委員会での課題検討や勉強会等を中心に職員の資質の向上に努めました。

③ 感染対策

新型コロナウイルスをはじめ、感染症に対する手洗い、うがい、消毒を徹底し、感染の防止に努めました。

(2) 委員会活動 (毎月1回開催)

【事故防止・ヒヤリハット委員会】

・事故報告書、ヒヤリハット報告に基づき具体的な防止対策について検討を行いました。

【感染症予防委員会】

- ・感染症に関する知識・情報の共有とともに、施設内感染を防ぐ方策等について検討を行いました。

【身体拘束防止委員会】

- ・過去の事例等により身体拘束にならない介護方法等について検討を行いました。

【虐待防止委員会】

- ・日常のなかで気づき難い精神的虐待について話し合ったほか、接遇マナーを通して虐待を考えました。

【褥瘡予防委員会】

- ・褥瘡予防のための介護方法、栄養や介護用品の検討を行いました。

【入浴検討委員会】

- ・利用者の入浴時の介護方法や事故防止について話し合い、情報共有を行いました。

【レクリエーション・給食委員会】

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、友愛団体の受入を中止し、施設内での催しについても全員が大ホールに集まることは避け、ユニット内でのレクや時節にあった飾りつけ等について検討しました。（正月、クリスマス、ひな祭り、誕生会等）
- ・利用者の嗜好、催し時の献立について情報交換を行いました。

（3）利用者

- ①利用者と家族の同意に基づいたケアプランを作成し、適切な管理に努めました。
- ②利用者には、自立支援・機能維持に向けて可能なかぎり機能訓練（リハビリ）を行いました。
- ③定期健康診断を年1回行うとともに、嘱託医師による健康管理を週1回行いました。また、日々のバイタルサイン、食事量、体重変化の管理と排便記録を行い健康管理に努めました。

（4）家族

- ①面会時には利用者の近況を伝えるとともに、文書発送時には写真等を同封するなど、情報の提供に努めました。
- ②対面面会の再開により、ご家族との直接対話も増え、利用者の情報提供に努めました。

（5）施設環境

- ①非常用発電機の設置を行い非常災害時に備えるようにしました。
- ②ナースコール設備の入替、眠りSCAN、介護記録ソフトの導入を行い、施設のICT化を進めています。

(6) 苦情等の受付

苦情・要望件数 2件

- ・内出血のはっきりとした説明がなかった
- ・職員の対応（強い口調）

(7) 地域との交流

新型コロナウイルス感染予防のため、地域の方をお招きするイベント等は中止しました。

令和5年度事業報告書

香川短期大学附属のぞみこども園

1. 運営方針

幼保連携型認定こども園における教育及び保育は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、子どもの健やかな成長が図られるよう環境を整えその心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うことを目的としています。

乳幼児期は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期です。そのため、乳幼児期全体を通して、子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し、生きる力の基礎を培い、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成するように努めました。

また、教育・保育の質の確保及び職員の資質向上を目指すとともに保護者の就労形態の多様化に柔軟に対応し、こども園の持つ機能を十分に発揮できるよう努めました。

2. 事業報告

(1) 職員

①保育士等処遇改善

保育士等処遇改善加算を受け、職員の処遇改善を行いました。

②園外研修

職員の資質向上のため、園外(オンライン含む)の81研修(2研修ほぼ全員参加)に参加しました。

③園内研修

- ・各クラス単位で研究保育を行い、課題・改善を話し合い資質向上に努めました。
- ・職員会において、オンライン研修を実施したり、研修報告から新しい情報を受け話し合うことで共通理解を図りました。
- ・園外研修会に参加した職員による研修報告会を持ち、共通理解を図りました。
- ・新人研修は、職員ごとに自分で課題を設定、実践、振り返り、話し合う場を持つことで改善するPDCAサイクルにつなげて初任者としての学びの資質向上に努めました。
- ・職員別研修では、日々のエピソードから園児の発達と学びの気づきから改善等を話し合い保育内容の再確認や保護者支援等の意思統一を図りました。
- ・ヒヤリハットによる安全に対する共通理解を図りました。
- ・地震、火災、水害、竜巻などを想定した避難訓練を毎月行い、常に子ども達が安全に避難できるよう職員間の連携を図りながら行うことで、災害への意識を高めました。

④善通寺市幼児教育の推進向上事業

- ・香川県の幼児教育スーパーバイザーと善通寺市の幼児教育アドバイザーの派遣事業において8月と1月に指導訪問を実施。職員の資質向上に繋がる学びの場になりました。

(2) 園児、保護者

①0、1、2歳児

- ・ゆるやかな担当制のもと、一人一人の保育計画に基づいて丁寧に関わっていきました。
- ・異年齢クラスでは発達の違いを考慮した保育を実践し、発達を援助していきました。

- ・異年齢交流では、感染症の状況を踏まえた取り組みを行いました。

②3、4、5歳児

- ・遊びを通じた友だちとの関係づくりや子ども自ら考えたり試したりする力が育つように環境を整え、意識的に援助していきました。
- ・幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を意識して丁寧に関わっていきました。
- ・年齢に応じた音楽・体育・造形・文学・自然などの課業を計画、実行しました。
- ・5歳児は、入学予定の小学校において交流の場に参加することで小学生との触れ合いをしました。また、小学校教諭が遊びの様子を見に来たり、話し合ったりと連携を図りました。

③保護者

- ・園児が遊んでいる様子をコドモンシステムで配布することで園児の様子を伝えました。
- ・運動会は、参加者の人数制限を解除し、親子競技など親子での触れ合いを実施しました。
- ・保育参観を年齢ごとに数日に分けて実施しすことで、普段の様子を見ていただきました。また、ワークショップや講演を聞く機会を持ち、保護者間の交流を促しました。
- ・懇談を実施して子育てについての協力や支援の充実を図りました。

(3) 食育関係

①動画配信実施

- ・家庭学級として、人気メニューの作り方をコドモンで動画配信しました。

②0,1歳児の参観時に離乳食や給食を試食していただく機会を設け、出汁をかかせた薄味を体験していただいたり、乳幼児の咀嚼や嚥下機能の発達に合わせた調理方法の話などを実施しました。

③菜園・クッキング活動

- ・食育の一環として元気な土作りから「元気野菜」を収穫する体験をしました。
- ・園児が育てた野菜を給食メニューに取り入れたり、家庭に持ち帰り感想を給食日より知らせたりしました。
- ・味噌づくり、夏野菜ピザ、クッキーづくりなどマスク・ビニール手袋の着用、人数の配慮など対策を十分行った上で実施しました。

③アレルギー対策

- ・園で初めて食べる食材がないように、食材表をもとに家庭で摂取後アレルギーが出ないことを確認して給食で提供するように徹底しました。
- ・特に未摂取の食品に対し、誤食が起こらないよう調理、盛り付け、対応確認（配膳）、食事援助等携わる人が段階を追って確認をしたり、改善を行いました。

④食材の見直し

- ・食材の大きさや形態など、子どもがのどに詰めたり気管に入ったりしないように話し合い改善していきました。

(4) 施設環境

- ・施設機能強化推進加算において、避難用備品を購入しました。
- ・パソコンの速度が遅いため、作業効率化をあげるためハードを交換しました。
- ・受水槽の修繕を行いました。
- ・給食室のエアコンが故障し、購入しました。

- ・保育室のエアコンが水漏れによる修理及び清掃を行いました。
- ・フェンスの一部老朽化による修繕及び外スロープの手すりの劣化による塗り替えを行いました。

(5) 健康・安全

- ・保育時間中に園児が病院受診した怪我等については、リスクマネジメント委員会で事故原因、対策について話し合いの場を持ち事故防止に努めると同時に、危険箇所がないかヒヤリハット委員会を行いました。
- ・コロナウイルス感染症は、5月8日から5類になりましたが、玩具や机等の消毒の徹底、登降園時における受入受け渡しは保育室前で行なうことなどを続け、ウイルスを持ち込まない、広げないように努めました。また、コロナウイルスに関わらず感染症の連絡があった場合は、速やかにコドモンや掲示等で保護者への連絡を行い、啓発に努めました。

(6) 苦情処理関係

- ・令和5年度 苦情・要望件数 0件

(7) 実習生、体験学習生の受入

- | | |
|----------------------|-----|
| ・香川短期大学子ども学科生実習 | 13名 |
| ・香川短期大学生生活文化学科食物栄養専攻 | 4名 |
| ・尽誠学園高等学校看護科 | 18名 |
| ・香川看護専門学校 | 60名 |
| ・香川短期大学主催高校生の実習 | 9名 |